

**公開収録** 希望の光届け海を越えて!  
北朝鮮向けラジオ放送共同公開収録

北朝鮮向けラジオ放送「ふるさとの風」「しおかぜ」共同公開収録が、6月30日に北秋田市文化会館で行われ、350人を超える参加者が集いました。

公開収録では、津谷市長や当市出身の特定失踪者松橋恵美子さんのご家族からのメッセージなどの収録や、合川小学校有志の会やコールつくしんぼ、歌手の方たちのコンサートが行われました。

このイベントの様子は、後日、北朝鮮に向けてラジオ番組で放送されるほか、国内でも短波放送やインターネットでも視聴できる予定です。



**消防訓練** 訓練を通じて消防力を強化  
令和元年度北秋田市消防訓練大会

令和元年度北秋田市消防訓練大会が、6月30日に市民健康広場で行われ、市内13分団のうち5分団から135人が参加し、規律訓練やポンプ車操法などで日頃の訓練の成果を競い合いました。

開会式では、津谷市長が「大会を通じて、消防団の一層の結束を図り、それぞれの技術の習熟を目指してほしい」などと激励しました。

この日は、各部門に選抜された2隊が参加し、審査員や他分団の団員が見守る中、連携のとれた動作で手順をこなし、訓練の成果を披露しました。



**地域行事** 地域の環境整備に貢献  
グリーンメイク「ブナ植樹活動」

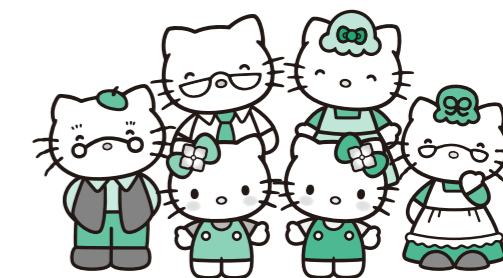
緑地環境ボランティア「グリーンメイク」によるブナ植樹活動が、6月13日に米内沢長野地区で行われ、植樹を通して地域の環境整備の推進を図りました。

この事業は、市内の環境保全と整備を行うことで、魅力あふれる観光振興に結びつけ地域の活性化を目的に実施しています。

この日は、ラブバリーネットの会員、秋田北鷹高校緑地環境科の生徒など約40人が参加し、北秋田市が緑でいっぱいになることを願い、環境保全の大切さを感じながら、ブナの苗木200本を植樹しました。



市内のいろいろな出来事をご紹介します



**地域行事** 美しい緑を未来へ引き継ぐ  
2019あきた水と緑の森林祭

2019あきた水と緑の森林祭が、7月7日に県立北欧の杜公園で開催され、大勢の参加者が、記念式典や植樹を通して自然を守ることの大切さについて理解を深めるとともに、環境保全の意識を高めました。

記念式典では、緑地活動などに尽力された団体の表彰や感謝状の贈呈、鷹巣南小学校の児童からメッセージの朗読が行われました。

式典後には、市有地にて植樹活動が行われ、約120人が参加し、イタヤカエデやハナミズキなど計6種類の苗木を丁寧に植え、成長を願いました。



**地域行事** 丸太から芸術作品を削り出す  
第12回東北チェーンソーアート競技大会

第12回東北チェーンソーアート競技大会が、7月6日、7日に県立北欧の杜公園で開催され、13人の選手が大小のチェーンソーを使って秋田杉の丸太から様々な芸術品を削り出しました。

選手たちは、様々な大きさのチェーンソーを使い分け、各自が設定したテーマに沿って、豪快に丸太を切ったり、繊細な模様を刻んだりして、自分の思い描く作品づくりに挑戦していました。巧みな技術で仕上がっていく作品を、多くの観客が興味深く見入ったり、カメラに収めたりして楽しんでいました。



**地域行事** マタギ文化の継承と可能性を探る  
日本遺産推進事業「マタギシンポジウム」

日本遺産推進事業「マタギシンポジウム」が6月21日に、北秋田市文化会館で行われ、関係者や市民約400人が参加し、講演やパネルディスカッションを通して日本遺産認定を目指す阿仁マタギ文化について理解を深めました。

第1部では東北芸術工科大学の田口洋美教授の講演と宮城県利府高校の村上一馬教諭との質疑応答、第2部では、女性ハンター4人を交えたパネルディスカッションが行われ、来場者はマタギ文化の価値や魅力を再認識していました。



**寄付金** 子どもたちのための活用を  
秋田県信用組合 寄付金贈呈式

秋田県信用組合創業70年記念寄付金贈呈式が、6月14日に北秋田市役所で行われ、秋田県信用組合北林貞男理事長より津谷市長に寄付金50万円の目録が贈呈されました。

贈呈にあたり北林理事長は「秋田県信用組合が70年の節目を迎え、地域への感謝の気持ちを込めて未来を担う子どもたちのための図書を贈呈したい。子どもたちが地域への郷土愛を育み、地域に貢献できる人材が輩出されることを願っている」などと寄付の趣旨について説明しました。

